

令和元年度 災害ボランティアコーディネーター養成研修【応用編】

～災害多発時代における災害ボランティアコーディネーターの役割～

近年、災害が多発し、今年度も令和元年8月の前線に伴う大雨、台風15号及び19号等による災害が発生しています。災害が発生すると、被災地社協は災害ボランティアセンターの迅速な設置・運営が求められ、また、災害ボランティアセンターでは、泥出しやがれき処理にとどまらない地域住民への幅広い生活支援の役割が求められるようになってきています。

このように、災害ボランティアセンターの役割が増大するにつれ、被災者とボランティア、地元住民や行政、支援団体との連絡の要となるボランティアコーディネーターの育成が強く求められています。

このため、本研修では社協職員を対象に、最近の具体的な災害時の取組事例を通じたワークショップを行い、必要となる知識、技術、経験を共有することにより、災害ボランティアコーディネーターの育成を図ることを目的とし開催します。

■ 日時 ■ 令和2年2月17日(月) 13:30～17:00

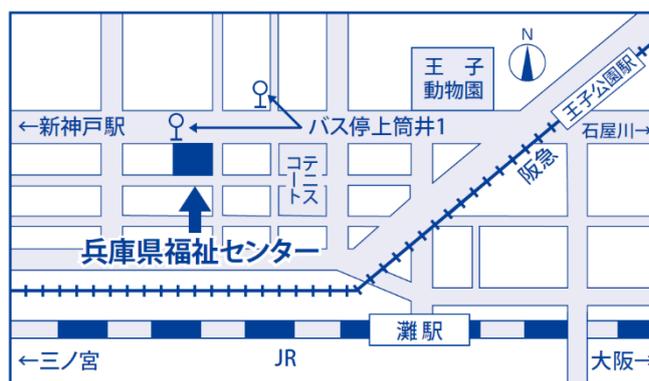
■ 場所 ■ 兵庫県福祉センター2階 203

(神戸市中央区坂口通2-1-1)

■ 対象者 ■ 市区町社協職員(災害ボランティアセンター設置時に運営の中核を担う職員、担当者等)

アクセス

- ・JR「灘」駅より徒歩10分
- ・阪急「王子公園」駅より徒歩10分
- ・阪神「岩屋」駅より徒歩15分
- ・神戸市営バス90・92系統「上筒井1丁目」停留所下車すぐ



申し込み

別添申込書に必要事項をご記入の上、FAXもしくはメールでお送りください。【2/10(月)締切】

問い合わせ

社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会 ひょうごボランティアプラザ 担当:佐々木、北川
TEL078-360-8845 FAX078-360-8848 Mail: vplaza@hyogo-wel.or.jp

プログラム

13:30～13:40 挨拶、趣旨説明

13:40～14:45 事例報告・鼎談

「令和元年台風 19 号に係る災害に対する社協災害ボランティアセンターの取組」

・コーディネーター:にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏

・事例報告者:姫路市社会福祉協議会 係長 渡邊 越子氏(伊達市派遣)

神戸市社会福祉協議会 須磨在宅福祉センター所長 有森 孝輔 氏

(郡山市派遣)

近畿ブロックにおける本県の派遣先である福島県での支援活動に関する事例報告を通じ、派遣先での学び、感じた課題(ボランティアセンターの体制、ニーズ把握、ボランティア募集の手法、被災者とボランティアのマッチング、外部団体の受援体制 等)を共有し、課題解決に向けた方策について話し合います。

14:45～15:10 事例報告・対談

「令和元年 8 月の前線に伴う大雨に係る災害に対する社協以外の災害ボランティアセンターの取組」

・コーディネーター:にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏

・事例報告者:被災地NGO協働センター 代表 頼政 良太 氏

社協ではなく、民間の団体が設置運営した災害ボランティアセンター「おもやいボランティアセンター(佐賀県武雄市民と民間のボランティア団体が協力して立ち上げた民間のボランティアセンター)」の取組に関する事例報告から、その立ち上げの目的や方法、社協設置のボランティアセンターとの違い・すみ分け等について学びます。

15:10～15:20 休憩

15:20～16:20 グループ討議

16:20～17:00 講義、まとめ

・講師:にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏